

精華町教育委員会会議録

平成27年（第10回）

1 開 会 平成27年9月24日(木) 午前10時00分
閉 会 平成27年9月24日(木) 午前11時00分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 細川委員
太田教育長 (欠席委員: 蓑毛委員)

3 出席事務局職員
岩橋教育部長 竹島学校教育課長
仲村生涯学習課長 北澤総括指導主事
山崎学校教育課係長

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第10回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成27年第9回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

・特になし。

【採 決】

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

平成27年度後半の教育委員会の今後のスケジュールについて報告させていただきます。

1点目はまず、新しい教育委員会制度が平成27年4月から施行され、既に第1回の総合教育会議を開いたわけだが、予算編成期を迎えるにあたり、第2回の総合教育会議を開催するという。町長部局の主導ということになっているが、教育委員会でも「教育、学術及び文化の振興

に関する総合的な施策の大綱」の策定に向けての作業を進める必要がある。これについては、前に町長との話し合いの中で出たようなことを基本にしながら、これから事務局で案を練り上げていき、教育委員会のほうでも議論をする方向に持っていこうと考えている。

2点目は、教育現場への訪問を毎年行っているわけだが、今年もこれから10月末にかけ、小・中学校8校の学校訪問を行う予定である。今回はさらに、生涯学習施設である、むくのきセンターをはじめとした体育施設、図書館についても新たに現地視察を計画している。この件について、日程調整をこれからさせていただくので、よろしくお願ひしたい。

3点目は各種研修について。教育委員会制度が変わり、教育委員の研修の充実が求められている。今後の予定として、一つは近畿市町村教育委員会研修大会が10月13日に京都テルサで行われる。特に今年は委員会制度改革があったことを受け、兵庫教育大の日渡先生の「教育長の役割、教育委員の役割について」というテーマでの講演、その後、箕面市の「教育委員の活動等について」、三木市からは「総合教育会議と教育委員について思うこと」という内容で実践発表が予定されている。

また、「市町村教育委員会研究協議会」が、西日本で毎年、開催されている。今回は奈良県で、11月12日（木）、13日（金）に開催される。地理的にも近いので、皆で参加をしたいと考えている。1日目に文部科学省からの行政説明、その後、教員の資質・能力の向上についての研修が行われる。翌日は分科会に分かれ、教員の資質・能力向上関係、いじめ・不登校関係、新教育委員会制度関係の、3分科会が開催される。

新教育委員会制度への対応、それから学校や生涯学習施設への訪問、そして各種の研修会の3点、今後こういった動きがあるので、よろしくお願ひしたい。

(4) 議決事項

なし

(5) 諸報告

教育部長 1 議会9月会議の状況について

一般質問については、さきに一般質問の通告書を示させていただいたが、答弁状況についてまとめたので報告

する。質問議員は5名、質問事項は合計8件。内容は後ほどご確認いただくが、その8件の質問事項のうち3件は町長の出馬表明に関する内容であった。その他には、今方議員の情報リテラシーについて、子供をネット社会の中からどうやって守るのかという内容、三原議員からは寝屋川の事件を受け不審者情報の情報共有のあり方について、宮崎議員からは少子化対策に関連し、特に妊娠、出産に関する医学的、科学的な正しい知識についての指導充実について、また、学校給食の時間に日本茶をとということで、答弁としては学校給食とはこだわらずに学校教育全体の中でお茶は取り上げており、今後もそういった対応をしていくとした。坪井議員の教育施策については小学校給食の民営化に反対し自校直営方式の維持、堅持をとという内容。答弁としては、小学校の自校方式は当面維持していくが、民間委託については基本的によりよい学校給食を追求する中で進めていくという答弁とした。次に、少人数教育について京都式少人数教育を活用し、より少人数学級の展開をとという内容で、これは現状の取り組み状況を説明させていただいた。

総務教育常任委員会では、精華町民主町政の会から提出されていた請願があり、安全でおいしい中学校給食の早期実現と小学校給食の直営方式の維持を求める請願というもので、坪井議員の一般質問と同じような趣旨であった。これについて常任委員会で採択するか採択しないかの議論がされ、直営維持については異論が多く出されて、最終、未採択という結果となっている。

最後に、予算決算常任委員会について。教育関係では内海議員と宮崎議員、三原議員、神田議員の4名から質疑があった。内容としては、不登校対策、学校支援地域本部事業、子どもの読書推進、学力テストの結果と学習指導の充実、理科教育の推進、学校教育における男女共同参画の推進、町民体育大会の今後のあり方、給食費補

助のあり方についての質疑であった。

教育部長 2 光台商業施設について

J R 西日本不動産開発株式会社が現在施工している光台の商業施設に対し、ことしの3月に精華西中学校、東光小学校、精華台小学校の3校長連名で、交通安全対策と青少年健全育成に関する要望書が提出されており、9月2日に回答書があった。内容について、交通安全対策については、特に課題となっていた精華大通りでの安全確保で、施行者側からガードマンを配置すること。また、青少年健全育成関係では、深夜営業時間を当初計画から、短縮することなど、回答としては一定評価できる内容となっている。オープンは10月下旬で、オープン後の状況を見ながら、教育委員会事務局としても学校側と必要な協議を行い、対応を図っていきたい。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

小・中学校の生徒指導の報告はゼロ件だった。不登校について、夏休み前から9月の状況について報告させていただく。6月が不登校生徒のピークで、小学校では16名だった。昨年1年で13名なので、非常に多い人数になっている。中学校では33名で昨年と同様の結果。同じように比較はしにくいだが、そのような状況であった。4月から増加の一途をたどっており、それが7月に入って若干回復をして、7月は小学校では13名に、中学校では27名に減少した。そのうち小・中学校とも3日の欠席及び4日の欠席がそれぞれ小学校で5名、中学校でも5名いた。担任の先生も危機感を持って、家庭訪問など家庭との連携をとりつつ、取り組んでいる。その結果で7月、若干の回復が見えてきた。夏休みを終えて9月に入り、小・中学校ともそれぞれ担任の先生が引き続いて1学期と同様、家庭連絡、小・中連携等を進めながら、

7月の段階で3日欠席や4日欠席の子たちにも積極的にかかわりを持ち、9月のスタートにはその子どもたちのほとんどが出席できているとの報告を受けている。シルバーウィーク連休明け、行事等もあるので、子供たちを励ましながらか登校を促しているとの報告を受けている。原因については、兄弟関係や家のこともあるが、親が送り出す力が弱いというケースも見受けられる。その部分については、夏の小・中合同研修会を受けて、それぞれの子どもの課題を出し合い教師が共通認識し、同じような歩調で家庭にアプローチするということで動いている。そのようなことも含めて、まだ予断を許さない状況であり、それぞれの先生方は危機感を持って動いている。

学校教育課長 1 夏季期間中の各種大会の成績について

小・中学生の夏季期間中の各種大会の成績について報告する。まず、北海道で行われた全日本陸上競技選抜大会で精華西中学校の江川雅人君が100メートルで予選を通過して準決勝進出を果たした。また、奈良県で行われた近畿中学校総合体育大会で、陸上競技女子100メートルで精華西中学校の福原夏実さんが準決勝進出を果たした。それから、第65回関西吹奏楽コンクールが奈良県で開催され、中学校小編成の部で精華中学校の吹奏楽部が金賞という大変すばらしい結果をおさめた。さらに、京都府中学校総合体育大会については、1年男子の100メートル、共通男子200メートル、低学年男子4×100メートル、共通女子800メートル、3年女子100メートル、水泳競技男子400メートルの自由形、200メートル自由形、いずれも近畿大会に出場している。京都府吹奏楽コンクールについても、精華中学校、精華南中学校、精華西中学校も、金賞、銀賞ということで、大変すばらしい結果となった。小学生の部では、東光小学校のアンサンブルクラブが金賞を受賞した。最後

に、ジュニアオリンピックが10月23日に予定されているが、精華町から3名出場する予定となっている。男子の100メートルで精華西中学校から松浦大悟君、男子200メートルで同校江川雅人君、そして共通男子4×100メートルで同校松浦大悟君と江川君、共通女子で同校福原夏実さん、この3名がジュニアオリンピックに参加するので、応援をよろしくお願いしたい。この結果については、9月30日の議会最終日に、議員の皆さまにもお配りしたいと考えている。

生涯学習課長 1 精華マラソンについて

11月1日に実施する。申込期限は今月末。今まではストップウォッチで計測していたが、今年からチップ式に変更し、より本格的なマラソン大会となる。距離についても、自転車協会等に委託して正確な距離計測になる予定。参加の呼びかけをよろしくお願いしたい。

生涯学習課長 2 図書館年報について

図書館年報が作成できた。中身をごらんになっていただき、今度視察で図書館を訪れたときに、年報の内容について意見をお聞きかせいただきたい。

生涯学習課長 3 施設指定管理評価委員会の評価結果について

平成25年度より、むくのきセンターを初めとする体育施設について、NPO法人精華町体育協会のほうに委託しており、その結果を毎年議会へ報告している。これについても生涯教育施設を視察していただいた際に、現場の声を聞きながら内容についてご説明したいと考えている。

【委員の意見等】

細川委員

光台地区の商業施設の件で、精華大通り側の入り口はファーストフード店のドライブスルーにも使用し誘導員が配置されるという認識で良いか。

学校教育課長 大通りからの入り口は、商業施設の開発当初から計画されていた。今回のオープンにあたり当初の予定通り、ドライブスルーも大通りの入り口から進入し退出となる。誘導員については、登下校時を中心に2名配置される予定。状況を見て、それでは不十分だと判断すれば、再度協議していきたい。

細川委員 保護者やPTA宛に今回の決定事項は伝えてもらっているか。

学校教育課長 3中学校宛、3PTA会長宛に回答を行っている。

伊藤委員長 一般質問要旨においての少子化対策「妊娠・出産に関して医学的・科学的に正しい知識についての理解」というのは、これは少子化対策としてそういうものを整えて学習しているということか。本旨の少子化対策というのはどのような意味なのか。

太田教育長 少子化社会対策大綱というものを政府が出している。その中で、妊娠、出産に対する正しい情報を学校教育においても、扱うということで記載されている。それに沿っての宮崎議員からの質問だった。

教育部長 趣旨としては、晩婚晩産の傾向の中で、気づいたら産めなくなっていた、あるいは病気の発生が非常に多くなってきたことを後で知ったケースが多いので、事前に学校教育で指導してほしいというものであった。

伊藤委員長 10月になったら学校訪問がある。不登校の状況について解決や解決に向けて前進し始めていると思うが、それぞれの不登校の課題を抱えている家庭環境、それから子供たちの状況をあらかじめ勉強させてもらい、それをふまえながら学校訪問をしたいので準備をお願いしたい。

(6) 後援関係

8月から9月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数7件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が7件、うち社会教育係関係が5件、図書係は0件、体育係関係は2件。

(7) 10月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第10回教育委員会の閉会を宣言。